

エアフロー環気システム セントラル給気ユニット

形名

V-180QZ

据付説明書

据付けを始める前にこの説明書をよくお読みになり、正しく安全に据付けてください。

- 据付けは販売店・工事店様が実施してください。間違った据付け、お客様自身での据付けは、故障や事故の原因となります。
- 電気工事は販売店・工事店様において有資格者である電気工事士の方が実施してください。(無資格者の電気工事は法律で禁止されています)













別冊の「取扱説明書」はお客様用です。据付けが完了しましたらこの据付説明書とともにお客様に必ずお渡しください。

販売店・工事店様用

- この製品は、住宅の天井裏に据付けてください。それ以外の用途には使用しないでください。故障の原因となります。
- この製品にはシステム部材の給気用グリル、φ50フレキシブルダクト、市販のスイッチが必要です。その他屋外フード等は三菱換気送風機総合カタログにより別途ご用意ください。
- 本説明書の内容が確保されず点検・修理するために必要となる天井・その他の取り壊しおよび修復費用は、無償保証期間であってもお客様のご負担となります。あらかじめご了承ください。

## 安全のために必ず守ること

- 誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を次の表示で区分して説明しています。

 <b>警告</b>	誤った取扱いをしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの	 <b>注意</b>	誤った取扱いをしたときに軽傷または家屋・家財などの物的損害に結びつくもの
 <b>禁止</b>	ガス漏れに気付いたときは、換気扇のスイッチの入・切をしない 爆発や引火の原因。	 <b>禁止</b>	直接炎のあたるおそれのある場所や油煙・有機溶剤・可燃性ガスのある場所には据付けない 火災の原因。
 <b>水ぬれ禁止</b>	製品を水につけたり、水をかけたりしない ショートや感電の原因。	 <b>浴室取付禁止</b>	浴室など湿気の多い場所には据付けない 感電および故障の原因。
 <b>分解禁止</b>	改造や必要以上の分解はしない 火災・感電・けがの原因。	 <b>指示に従う</b>	本体の据付けは十分強度のあるところを選んで確実に 行う 部品の取付けは確実に 行う 落下によるけがの原因。
 <b>指示に従う</b>	交流100Vを使用する 直流や交流200Vを使用すると火災や感電の原因。 製品金属部(金属製ダクト)がメタルラス張り、ワイヤラス張り、ステンレス板などの金属と電気的に接触しないように据付ける 接触していると漏電した場合火災の原因。	 <b>指示に従う</b>	据付けの際は手袋を着用する けがの原因。 電気工事は電気設備技術基準や内線規程に従って、必ず専門の電気工事士が安全・確実に行う 接続不良や誤った電気工事は感電や火災の原因。
 <b>アース確認</b>	アースを確実に取付ける 故障や漏電のときに感電する原因。	 <b>指示に従う</b>	据付け後長期間使用しないときは、必ず分電盤のブレーカーを切る 絶縁劣化による感電や漏電火災の原因。

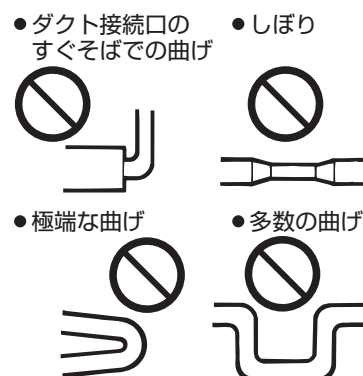
## 据付け前のお願い

### 据付け

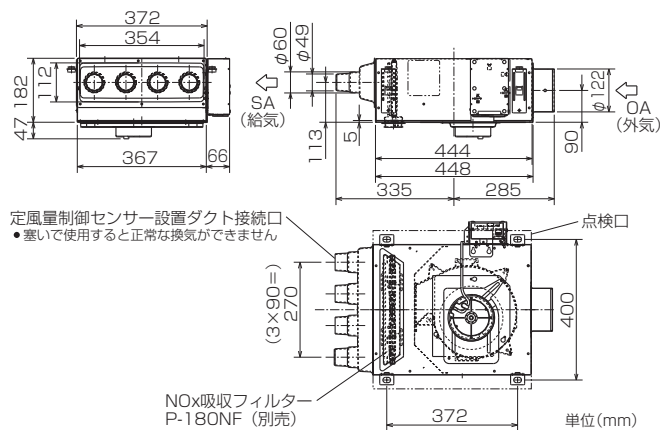
- 高温(40℃以上)になるところに据付けしないでください。(故障の原因)
- このユニットは、室外温度が-10℃を下回り、かつ室内温度が15~20℃、室内湿度が45%RH以上の条件で使用すると本体およびダクト表面から結露水が滴下することがあります。この条件下でも使用する場合には、本体およびダクトの断熱を補強してください。
- 傾斜天井には据付けしないでください。

### 天井・ダクト工事

- あらかじめ天井裏高さを250mm以上確保し、点検口を本体真下に必ず設置してください。フィルターのお手入れ、メンテナンスできない場合には、後で追加工事が必要となります。
- 給気ダクトは雨水の浸入を防ぐために屋外に向けて1/100以上の傾斜をつけてください。
- 右図のようなダクト工事はしないでください。(風量低下や異常音発生の原因となります)



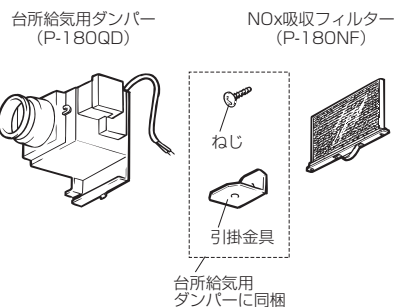
# 外形寸法図



## 付属部品

- 取付金具.....4個
- ダクト接続口.....1個 (外気側)
- ねじ.....6本 (取付金具用.....4本) (ダクト接続口用.....2本)
- 断熱材 (取付金具用).....4枚

## システム部材

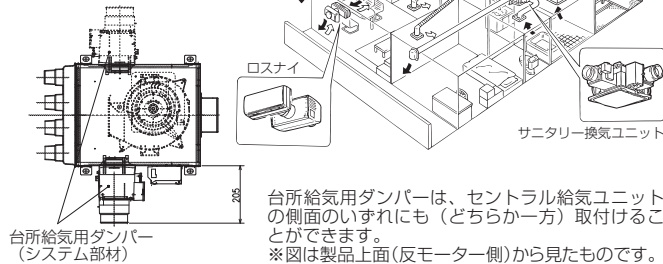


# システム例

セントラル給気ユニットは住宅に必要な換気量を設定する機能を備えており、下記のシステム部材と合わせて「24時間換気システム」として使用します。

## お願い

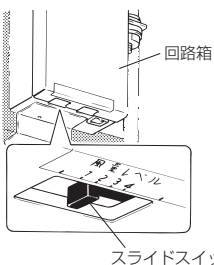
- このシステムは外気を直接取り入れます。冬季に肌寒さを感じにくい位置(暖房機近傍など)に給気用グリルを取付けてください。



台所給気用ダンパーは、セントラル給気ユニットの側面のいずれにも(どちらか一方)取付けることができます。  
※図は製品上面(反モーター側)から見たものです。

# 据付方法

## 風量設定のしかた



回路箱のスライドスイッチを操作すると下記のように全体の換気量を変えることができます。  
※工場出荷時は2に設定してあります。

スライドスイッチ設定	各居室風量 (m³/h)	全体換気量 (m³/h)	3か所給気, 4か所給気
1	20	60	80
2 (工場出荷時)	25	75	100
3	30	90	120
4	35	105	140

- 風量設定の際は電気工事<接続のしかた>を参照に端子台カバーをはずしてください。

## メモ

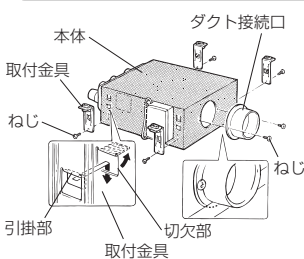
- 給気ユニットの能力以上の静圧が加わると、上記の値を満足しない場合があります。

## 据付けの前に

### フィルターに使用開始年月日を記入

- 1.別冊の取扱説明書(お客様用)の「お手入れ」を参照して、給気清浄フィルター(2枚)をはずし、それぞれに使用開始年月日を記入する。
- 2.給気清浄フィルターを元通りに取付ける。

### 取付金具・断熱材(取付金具用)・ダクト接続口の取付け



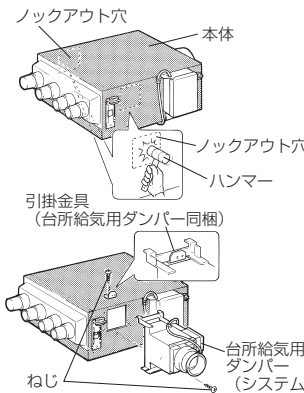
- 1.本体側面の切欠部を本体内部へ押し曲げて、付属の取付金具の引掛部を切欠部に引っ掛け、付属のねじ4本で取付ける。
- 2.取付金具に断熱材(取付金具用)を貼り付ける。(4か所)
- 3.外気側に付属のダクト接続口を付属のねじ2本で取付ける。

## メモ

- 取付金具の取付位置は、据付場所に応じて2段階の選択ができます。(4か所の位置は同じ高さで取付けてください)

### 台所給気をする場合

システム部材の台所給気用ダンパーを用いることで、レンジフードファンの運転と連動して台所への強制給気を行うことができます。



### ロックアウト穴を開ける

- 本体の給気側側面部がロックアウト方式になっています。
- 台所給気の配管する側(どちらか一方)をハンマーなどで打ち抜く。

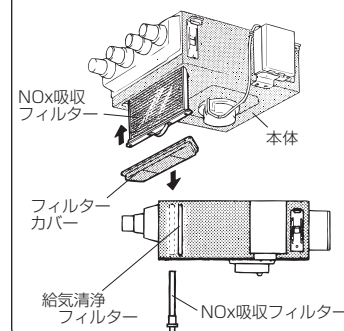
### 台所給気用ダンパーを取付ける

- 1.台所給気用ダンパーに同梱の引掛金具とねじで図のように固定する。
- 2.台所給気用ダンパーの引掛部を引掛金具に引掛ける
- 3.台所給気用ダンパーに同梱のねじで台所給気用ダンパーを固定する。

## お願い

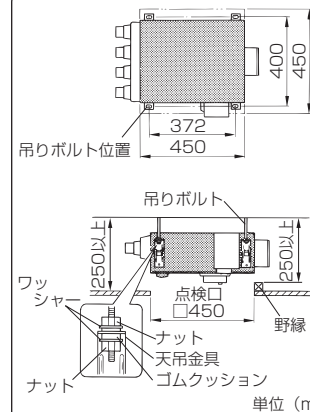
- 取付け後、台所給気用ダンパーが容易にはずれないことを確認してください。

## NOx吸収フィルター (P-180NF) を取付ける場合



- 1.フィルターカバーをはずす。
- 2.「NOx吸収フィルター(別売)取付け位置」のシールをはがす。
- 3.NOx吸収フィルターを左図の位置へ垂直に挿入する。
- 4.フィルターカバーを元どおりに取付ける。

## 本体の据付け



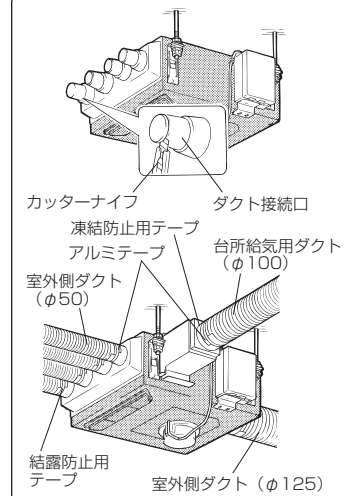
- 1.外形寸法図の天吊金具位置を参照して吊りボルトを埋め込む。(M8またはM10)

- 2.本体が水平になるように天吊金具を吊りボルトに取付け、市販のワッシャー、ナットで確実に固定する。

## お願い

- 図のようにあらかじめ天井高さを250mm以上確保し、フィルターのお手入れのため、必ず本体真下に点検口がくるよう施工してください。メンテナンスができない場合には、後で追加工事が必要となります。(野縁がある場合は、野縁からの寸法を確保してください)

## ダクト工事



### ダクトを接続する

- 1.室内側給気を4分岐で使用する場合、図のダクト接続口をカッターナイフ等で開口する。(3分岐はそのまま)
- 2.室内側、室外側ダクトをダクト接続口に差し込む。  
●台所給気用ダンパーも同様です。
- 3.ダクト接続口とダクトのすき間をアルミテープで固定する。
- 4.アルミテープの上から結露防止用テープを巻く。  
●3分岐の場合は、ふさがったダクト接続口にも結露防止用テープを巻く。

## お願い

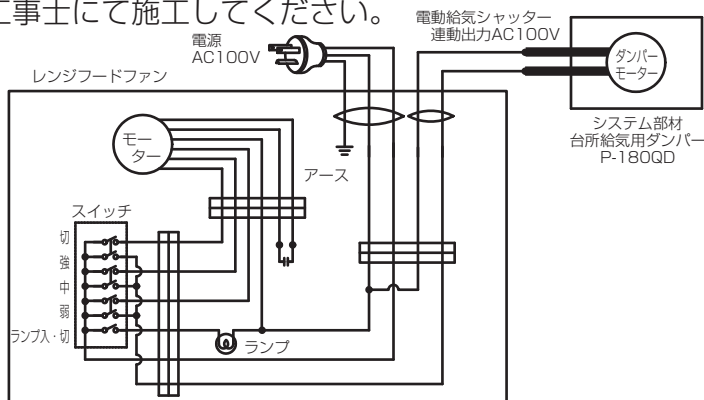
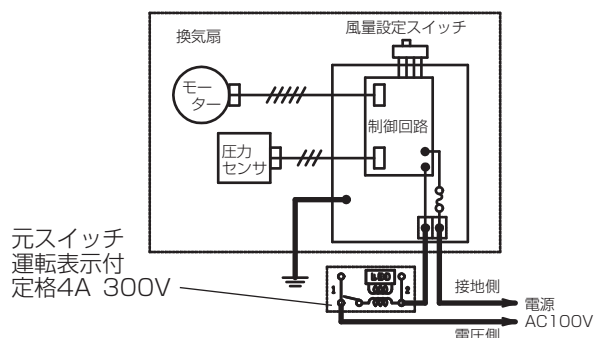
- 結露防止のため室内側、室外側ダクトには必ず接続部根元まで断熱処理をしてください。

# 据付方法 つづき

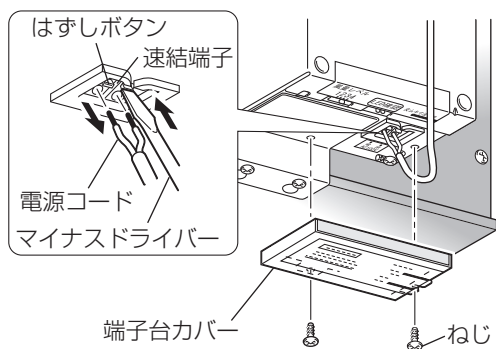
## 電気工事

- 電源線・連絡電線はVVFケーブルφ1.6の2芯を使用してください。
- 電源線・連絡電線は接続部に力が加わらないようにたるみをもたせて配線してください。
- 各スイッチは下図の定格容量でパイロットランプ付のものを使用してください。

〈結線図〉…太線部分は有資格者である電気工事士にて施工してください。



## 〈接続のしかた〉

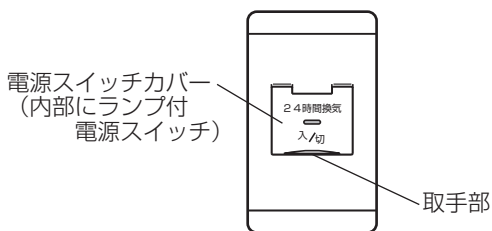


1. 端子台カバーをはずす。
2. 先端11mm (ストリップゲージに合わせる) 皮むきした電源線を速結端子に確実に差し込む。
3. アース端子を使用してアース線を接続する。
  - アース接続線は単線直径1.6mmまたはより線1.25mm<sup>2</sup>をご使用ください。(圧着工具は日本圧着端子製YHT-2210をご使用ください)
4. 端子台カバーを元通りしめる。

## お願い

- より線を結線する場合は、棒状圧着端子 (パナソニック電工製WV2500) をより線に取付けてから速結端子に確実に差し込んでください。
- 電線を速結端子からはずす場合は、マイナスドライバーで速結端子のはずしボタンを押しながら電線を引っ張ってはずしてください。

## 〈元スイッチについて〉

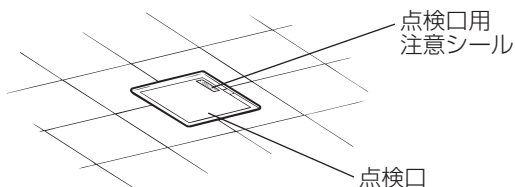


スイッチは24時間換気に対応したものを選定してください。

例：P-10SWLタイプ (定格4A・300V)

- 上記以外に、市販のスイッチを使うこともできますが、スイッチの種類により、運転表示ランプの輝度が暗くなることがあります。

## 〈点検口用注意シールについて〉



## メモ

- 24時間換気に対応したスイッチとは、24時間小风量換気を有効に行うため、誤って元スイッチを切られないようにするものです。

点検口用注意シールを点検口に貼り付ける。

# 試運転

システムの据付けが完了したら正常な運転ができるか、取扱説明書を参照して確認してください。

- この製品は換気扇の故障をお知らせするアラームを備えています。  
アラーム音が鳴りましたら故障ですので、元スイッチを「切」にして修理の依頼をしてください。

# 三菱電機株式会社

中津川製作所 〒508-8666 岐阜県中津川市駒場町1番3号

この説明書は、再生紙を使用しています。